

シルバーかしわら



「大和川・石川クリーン作戦」に当センターから約60名の会員が参加し、そろいのジャンパーと帽子で河川敷の清掃を行いました。

目 次

第80号

発行

公益社団法人
柏原市シルバー人材センター
大阪府柏原市安堂町1番55号
TEL 072-972-1583
FAX 072-971-8892
<http://www.kashiwara-sjc.net>

- ・令和6年度定時総会報告(2)
- ・理事長ごあいさつ(3)
- ・令和6・7年度役員紹介(4)
- ・安全対策委員会から(5)
- ・水墨画の寄贈(6)
- ・いきいき広場(7)
- ・お知らせ・編集後記(8)

令和6年度 定時総会を開催

6月10日(月)に公益社団法人柏原市シルバー人材センターの令和6年度定時総会が柏原市民文化センターにおいて開催されました。

令和6年度の定時総会は、5年ぶりに制限なしの通常開催となりました。当日は、議決権行使者、委任状提出者合わせて369名となり、総会員数468名の過半数を満たしており、総会は成立しました。笠井理事長の挨拶に



笠井理事長のあいさつ



富宅市長の祝辞

続き名誉会長でもある富宅正浩市長の祝辞の後、ご来賓の田中秀昭市議会議長、柳沢太郎藤井寺公共職業安定所所長からご祝辞をいただき中村保治市議会厚生文教委員長の紹介に続いて、会員表彰を行いました。

次に、議長に会員の倉本保氏を選出し、定足数の報告及び議事録署名人の選出の後、議案の審議に入り「議案第1号令和5年度事業報告について」、「議案第2号令和5年



倉本 保護長

度収支決算報告及び監査報告について」、「議案第3号役員(理事・監事)の選任について」の3件が、いずれも原案通り可決・承認されました。次に「報告第1号令和6年度事業計画について」、「報告第2号令和6年度収支予算について」及び「報告第3号令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて」の3件が報告され、閉会しました。

なお、6月24日に開催された第2回理事会で、理事長に笠井和憲理事、副理事長に木佐貫正登理事、駒田順子理事、常務理事に脇田直行事務局長が選出されました。

令和6年度 会員表彰

○永年表彰

正会員として20年以上在籍し、その間毎年1回以上就業された方(順不同・敬称略)

- 杉本肥三・松井恒春
- 福島祥价・浦川春夫
- 寺島伸二・浜沖れい子
- 山田史子



福島さん、松井さん、杉本さん、笠井理事長



理事長ごあいさつ



理事長
笠井 和憲

発注者様、各理事、会員各位、職員の方々のご協力のもとシルバー人材センターの事業発展に“一意専心”努めて参りたいと存じます。

令和4年6月の理事長拝命時にはコロナ終焉に近いとはいえ、まだまだウイルスの脅威を拭い去ることができず、

去る6月10日(月)、柏原市民文化センターにおいて柏原市シルバー人材センターの令和6年度定時総会が開催され、富宅市長(当センター名誉会長)を始め多くの来賓の方々、会員の皆様のご出席を賜わり議案3件(役員の選任を含む)、報告3件すべて可決・承認をいただきました。

6月24日に開かれた第2回理事会で、私を理事長に、そして副理事長に木佐貫正登理事、駒田順子理事、常務理事に脇田直行事務局長が選出され、新年度に向けて体制を整えていただきました。

発注者様、会員各位、状況になっております。しかし、事務局長・次長を始め職員各位の就業意識・意欲は高く、発注者様、会員様の大きなご協力のもと回復に全力を注ぎ、日々、頑張っていたいております。

昨年設立40周年記念事業も滞りなく済ませて頂き、10月からのインボイス制度導入にも各事業所、発注者、会員の皆様にご理解、ご協力を頂き今のところ何の弊害もなく事業を熟させて頂いております。

状況であり、柏原市シルバー人材センターとして大変な時期でありました。また、社会状況は少子化・高齢化が進み、人材不足もあり企業も定年の見直し、延長等による対策をたてて人材確保に努めており、益々、高齢者の労力に多くの期待が寄せられています。それらが影響しシルバー人材セ

新会員増強においても、特に女性会員の増強にも力を入れ、事務局だよりやシルバーかしわら、市広報誌への掲載等、多くの媒体を利用し各公営事業所、郵便局にも置かせて頂き多くの市民の皆様の目に触れる様にさせて頂いております。

本年、事務所駐車場に新たに看板を設置いたしました。昼夜問わず人目につくよう、気づいて頂くように太陽光発電で暗くなると自動で明るく看板が浮かび多くの方々目に留まればと願っています。



新しく設置した看板

令和6・7年度 役員紹介

役員一同、会員の皆様と共に公益社団法人柏原市シルバー人材センター事業の推進に頑張っておりますので、ご協力をお願いいたします。(理事長、副理事長及び常務理事以外の理事・監事は五十音順)



脇田直行 常務理事
兼事務局長



駒田順子 副理事長



木佐貫正登 副理事長



笠井和憲 理事長



西戸浩詞 理事
(市健康部長)



富樫興一 理事



木村雅一 理事



北垣内一富 理事



山本俊博 理事



山下 實 理事



山口邦昭 理事



姫野幸子 理事



チエブクロー

「知恵袋」と「ふくろう」を合わせたキャラクターで、経験豊富な高齢者の知恵が集まるシルバー人材センターをこの二つのモチーフで表しています。



大井 晃 監事



石橋敬三 監事
(市財務部長)



山本佳子 理事

安全対策委員会から

(全国統一 スローガン)

安全は無理せず 焦らず 油断せず

安全・適正就業推進委員 山本 俊博

残暑が一段と厳しいですが、皆さんお変わりありませんか。

7月末までの事故件数は、傷害事故は無く、物損事故が草刈り時の飛び石による窓ガラスの破損など3件ありました。

今回は、安全就業に繋がる事項を書きました。

高齢者の日々の安全対策

今年は、酷暑の夏でした。ちなみに酷暑とは日最高気温が40℃を指す言葉で、熱中症へのリスクが極めて高くなります。熱中症での死亡率は高齢者の割合が高く、統計上では約8割が65歳以上の高齢者です。

なぜ高齢者なのか？

1 体内の水分が不足がちです

(高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさん尿を必要とします。)

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

(加齢により、暑さやのどの渇きの感覚が鈍くなります。)

3 暑さに対する体の調整機能が低下します

(高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年層よりも循環器系への負担が大きくなります。)

これらの予防法としては、

○部屋の温度を測り、エアコン

・扇風機を上手に使用する。

○部屋の風通しを良くする。

○必要に応じてマスクを外す。

○こまめに水分補給をする。

○暑い時はシャワーやタオルで体を冷やし、無理をしない。

○涼しい服装と、外出時には日傘の使用、帽子の着用をする。

○涼しい施設を利用する。

○緊急時の連絡先の確認など、

熱中症対策に努めてください。

健康管理は健康診断の

受診から！

心身ともに自立し健康的に生活できる期間とされる、「健康寿命」が男性約72歳・女性75歳と言われています。

その寿命を延ばす方策として、

健康診断の受診もその一つです。

今や二人に一人が癌を発生する時代です。健康診断で体の異常が見つかって、早期なら入院期間も短く、今の医療技術なら完治することも多いです。

今年度の会員さんの健康診断

は11月11日(月)を予定しています。必ず受診してください。

また、国民健康保険に加入の方は、柏原市の特定検診を、後期高齢者の方は、大阪府後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査を受診できます。

なお、「就業基準実施委員会」

では、80歳以上の会員さんが継続就業を希望される際は、健康診断結果の提出が必要です。

(かかりつけ医の持病の検査結

果では、受付できません。)

高齢者のいきいき交通安全

交通事故死者の数は減少してありますが、その半数以上は高齢者という非常に高い割合になっています。事故を未然に防ぐには

○通り慣れた道でも油断せず、安全確認を徹底しましょう。

○夜間の外出時には、明るい服装をして反射板を着用、自転車は必ずライトを点灯しましょう。

○信号が青だからといって油断せず、交差点を右・左折してくる車がないか確認しましょう。

○少し遠回りでも、信号機や横断歩道まで行って渡りましょう。

○横断前、横断中は油断せず、左右の安全確認をしましょう。

○道路を渡る時近づいてくる車がいいたら、車が通り過ぎるまで待機しましょう。

○ふだんあまり車が通らない交差点でも慎重に、必ず一時停止をして安全を確認しましょう。

○以上のことに、気を付けて楽しい日々を過ごしましょう。



「石神社 布団太鼓」



「朝霧・美山の郷」



「観音寺への道」

水墨画を寄贈していただきました

このほど、当センター元事務局長の石幸美智子さんから、水墨画3点を寄贈していただきました。いただいた水墨画は、事務所に飾っております。事務所へお越しの際は、ぜひ、ご覧ください。



石幸美智子
(太平寺)

水墨画との出逢い

私が初めて水墨画と出逢ったのは、まだシルバー人材センターで勤務していたころのことです。一人の會員さんが年末になると来年の干支の色紙をもって来て下さるのです。水墨画教室に通っておられ、描き上がった絵を拝見したとき水墨画に魅せられ、いずれ退職を迎えるその時には、必ず私もその先生の教室に通いたいと強く感じました。持つて来てくださった干支の絵は「シルバークかしわら」の新年号の表紙に使わせていただきました。

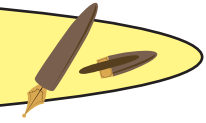
會員の皆様や事務局職員に支えられながら数年が経過し、無事退職を迎えるこ

とが出来、早速、水墨画の教室に入ることが出来ました。先ず、『四君子』これは水墨画の基本で梅、竹、蘭、菊を何枚も何枚も描き、飽きてきた頃を見計らって季節の花や果物、景色のお手本を頂き、一筆一筆時間も忘れ描いたものです。一筆入れる毎に花が生まれ、景色が広がる様に苦勞も喜びに代わって行きました。

あれから十数年、やっと人様に見て頂ける絵を描けるようになったかなど。お目汚しになっているかもしれませんが、一筆から表現出来る喜びは、それまでの疲れも吹っ飛ばす瞬間を感じ、又次の絵にと心を馳せています。

一枚の干支の絵が水墨画の世界にと導いてくれました。描き続ける楽しさを存分に味わいながら今日も筆を持っていきます。

いきいき広場 (会員の投稿)



今、振り返って



荻田 重子
(旭ヶ丘)

書くことが好きで、長い間、文化センターの講座に通ったり、市の要約筆記(筆記通訳)も続けたりしています。

センターのことは時折のチラシで認識していました。今は亡き友人に誘われたこともありましたが、いま一歩が踏み出せずにいました。私の勤めと叔母の介護の合間に取った資格、退職後に生かしたいとの思いはありましたが、日常はそうもさせてくれず、それでも元気な内に何かで自分を活かせることで、少しでも社会の役に立てればとセンターにお伺いして入会。早8年が経とうとしています。

仕事をいただき、日常から離れて集中し打ち込んだ後の解放感と充実感。人々の喜ぶ笑顔が見られることが何よりの幸せです。

そして失敗してもフォローしてください。職員さんの優しさに甘えながら、今日に至っています。体力、気力が続く限り頑張りたいと思っています。

シルバー人材センターに入ったきっかけ



山之上 恵一
(田辺)

私は42年間、サラリーマンとして働き定年を迎えました。先輩からシルバー人材センターの会員になり、就業することを勧められ、自分に合った仕事を見つけていただけたかな? と思い入会しました。

入会して早9年になります。色々な仕事を経験して入会してよかったと思います。事務局の方も話しやすく、事務所に行くとき軽に「どうですか?」と声をかけてくださいます。今は、健康である限り、少しでも長く働きたいと思っています。最近少し体力が落ちてきたように感じますが、食事や十分な睡眠など、健康管理に努めています。

子供達にも、くれぐれも体に気を付けるようにと言われています。

これからも、元気で楽しくセンターで就業し、無理せず充実した日々を過ごして、元気なおじいちゃんにいられるように頑張りたいです。

シルバー人材センターに入会して



山科 律子
(国分西)

私は、学童保育の仕事させて頂いています。去年から勤務日数が週4日から2日になったことをきっかけに、もう少し健康のためにも働きたいと思い、市役所に相談しに行きました。そこで、シルバー人材センターの事をお聞きし、すぐその足で事務所へ行き、去年の4月に入会説明会の申し込みをしました。

今年の2月に週1回のマンション清掃の仕事を紹介していただき、今はかけもちで働いています。

子どものお世話と全く関係のない仕事で不安でしたが、いつも心掛けていることは、住まわれている方が気持ちよく過ごせるようにと、心を込めて清掃しています。

体を動かすことは大切です、大好きです。お仕事を通して、これからも自分の体調を整えて長く働けるように頑張りたいです。

どうかよろしくお願ひ致します。

女性部会からのお知らせ

『テラリウム』作りを楽しみませんか？
参加者募集！

日 時：9月13日(金)
午後1時30分～2時30分

場 所：センター2階会議室

対 象：どなたでも参加でき
ます

定 員：先着20名

材料費：300円

持ち物：ピンセット

申込み：事務所まで電話
(☎972-1583)で。

※広報かしわら9月号にも掲載しています。



今年もやります「調理講習会」

日 時：12月6日(金)
午前10時～午後1時

場 所：健康福祉センターオアシス

対 象：会員

定 員：16名

※くわしくは、「事務局だより 10月号」
等でお知らせします。



事務局からのお知らせ

SMSを読んでいますか？

シルバー人材センターでは、SMS(ショートメッセージサービス)による連絡を増やしています。しかし、「メールを見ていない」という方がたまにおられます。

これからはSMSを使ったメール連絡を増やしていきますので、シルバーからのメールは必ず確認していただきますようお願いいたします。メールの確認の方法がわからない方は、無料の「スマートフォン相談会」をご利用ください。

職員紹介



ひがし
東 こういち
光一

4月から臨時職員としてお世話になっております。一日でも早く仕事を覚えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

編 集 後 記

今号の紙面は、令和6年度の総会において新たに選任された理事が広報委員として編集しました。

「シルバーかしわら」も年2回の発行で、マンネリ化しないようにと委員一同頭をひねっていますが、なかなか新たな発想が浮かばず同じような紙面になっていると痛感しています。

しかし、1面の写真は和川の河川敷の清掃の呼びかけに参加していただいた会員さんの写真、6面には元事務局長の石幸美智子さんから水墨画を寄贈していただいた記事を掲載しています。

次号も、会員さんの活動や、コロナ禍において自粛されていた旅行も行かれていますので、その手記などの投稿をお願いします。また、会員さんの中で編集に興味のある方は委員として参画していただくことをお待ちしておりますので、一緒に紙面作りを楽しんでみませんか。よろしくお願ひします。

広報編集委員一同